



QRコードから第2給水場の
地図が出てくるよ♪



市の花:アジサイ



習志野市水道第2給水場

第2給水場の役割

第2給水場は現在稼働している習志野市企業局の17本の井戸のうち、9本分の地下水を集めて浄水(消毒・ろ過すること)をしています。この水と北千葉広域水道企業団の表流水(川を流れる水のこと)を混ぜ合わせて藤崎エリアを中心に周辺の各家庭や学校などへ配水しています。また、天気や時間帯で変化する配水量に対応するため、コントロールセンターからすべての給水場に司令を出しながら24時間365日、職員が安全を見守っています。このため、第2給水場は周辺へ配水するとともに、すべての水道施設を操る頭脳のような役割をしています。

藤崎エリアに位置する水道施設。水道施設の他にガス施設が併設されているのも特徴です。

第2給水場



市の木:アカシア

水道施設の頭脳であり、第2の心臓。

配水池

第2給水場には3つの配水池(水をためる池のこと)があります。そのうち1番大きな配水池には、市営水道の供給区域にある小中学校の代表生徒が描いた絵がデザインされています。

容量:1,910^m×2基 5,000^m×1基 合計8,820^m
これは、学校の25mプール約29杯分の容量です。



コンピューター



コントロールセンター

すべての水道施設をコントロールできるコンピューター室です。ここでは、皆さんがお風呂や洗濯などでたくさん水を使う時間帯に配水量を増やしたり、水をあまり使わない深夜に配水池に水をためたりするなどの司令を出しています。

このように24時間365日、職員が交代で配水量のコントロールをしながら安全を見守っています。